

きずな

みんなで創ろう！あたたかさを感じられる住みよいまちづくり

令和4年12月10日号発行
高野地区まちづくり協議会
発行者：清水 敬
編集 広報部会

【高野地区】
松ケ丘・けやき台・南守谷・
高野・乙子・鈴塚・美園

第 15 号



芋ほり体験しました



10月30日、乙子・大手さんの畑で近所の子供たち8名と父兄4名が参加し芋ほり会を開催。収穫後には袋いっぱいのサツマイモをお土産にもらいお母さん方も大喜び。笑顔と泥だらけの子供たちも大満足そうでした。

今年は実験的に近所の子供たちを招いて「ミニ会」を実施しましたが、今後は地域の皆様の協力を得ながら大勢の子供たちの参加で「芋ほり大会」を検討したいと考えています。 【地域福祉部会】



第1回高野地区グラウンドゴルフ交歓会



初雁が訪れ、旬のシシャモが美味しい10月12日水曜日に地域交流事業の催しとして第1回高野地区グラウンドゴルフ交歓会がけやき台公園を会場に行われました。参加チームは、高野地域中心のけやき台GGC、けやき台地域中心の雅会GGクラブと松ヶ丘地域中心の清和クラブの3チームでした。競技は、各チーム12名の選手によるチーム戦で8ホール2ゲームの戦いでした。組み合わせは、チーム混合で和気あいあいとゲームを楽しみつつ真剣にプレイしていました。



皆さん頑張って～



表彰式：優勝は雅会GGクラブ

高野地区まちづくり協議会 敬老行事



記念品配布

コロナ禍で今年もイベント中止になり記念品配布となりました。自然界ではコロナウィルスに関係なく草木は生い茂り、色づき、枯れそしてまた芽吹く一年が繰り返されて今年も山粧う景色が観られています。それに引き換え人間界では第8波のコロナ感染拡大が始まった様子です。皆様におかれましては充二分に感染予防に対処して頂きたいと思います。

さて、今年は75歳以上の方が、昨年より167名増えて1,655名となっております。この内、紀寿を迎えられた世紀の人が美園地区にお一人いらっしゃいました。ご長寿おめでとうございます。

記念品選びは敬老行事プロジェクトチームの一大行事で多くの皆様にご満足頂けるよう英知を結集して対応してきましたが如何だったでしょうか。

記念品（左から）
挨拶状、
お薬手帳カバー、
ガーゼタオル、
日本手ぬぐい



11月2日記念品の封入作業



記念品選択には、次のこと等に留意して選んでおります。

- ・対面での手渡しを基準に不在の場合にはポスティングとする
- ・賞味期限や消費期限のあるものは選ばない
- ・品物はポスティング可能な様にできる限り薄めのものにする
- ・限られた予算内で最大のものにする
- ・商品券や引換券のような金券に値するものは選択肢から外す

このような基準で配布しましたが、訪問先の家屋に不在で生活感がない、転居したとの近所の方の情報、アパート暮らしの方の表札がなく配布先の特定ができない、お亡くなりになられた等で持ち帰りが51件ありました。一方、訪問先で歓迎されて快い気持ちを抱いたり、話が弾んだり、感謝されたりして配布までの苦労が癒された民生委員の方やプロジェクトチームの担当が苦労のかいがあったと喜んでおりました。高齢者の皆様の心遣いに感謝申し上げます。有難うございました。【敬老行事PT】

どう対応する 道に迷う高齢者

「高野地区まちづくり協議会」は、9月の「茨城県認知症を知る月間」に合わせ、9月5日「認知症サポーター養成講座」を実施。続く9月30日には「けやき台公園」において同協議会会員参加の下、「認知症声かけ模擬訓練」を実施した。認知症になっても安心して暮らせる高野地区に向けた取り組みがさらに一歩前進した。



【認知症声かけ訓練】

高野地区まちづくり協議会の地域福祉部会と役員、市役所健幸長寿課、地域包括センター、七福神の協力を得て、約30名が参加

声かけは、相手の気持ちを捉えたソフトな対応で

この訓練は、「どこか心配だな」と思われる人を見かけたときに「道に迷っていないか?」「何処へ行こうとしているのか?」など、実際に声を掛けて確認するというもの。ボランティアは実際に声をかけ、対処方法や地域での見守りのあり方について考え・検討することとしているが、ていねいな言葉づかいや相手の気持ちを捉えたソフトな対応等が求められる。不安を抱えた人たちへの対応は、「さりげなく・やさしく」「穏やかではっきりした口調」そして「自然な笑顔」で対応することが大切、と守谷市役所健幸長寿課の荒木香織さん。



「こんにちは、どこかお出かけですか?」とやさしい表情でゆっくりと声をかけます。



訓練終了後、公民館でグループに分かれ課題の抽出と成果の確認

早期発見が極めて重要

警視庁の「認知症の行方不明者の推移」によれば、徘徊老人は子供の迷子を上回り、令和元年の1年間、全国で約1万7千人にも達している。この数字は警察に届け出があったもので、届け出がないものを含めればもっと多くの高齢者が認知症により行方不明になっていると予想されている。行方不明となった場合、99.3%の人は1週間以内に保護されるケースが多いが、行方不明から5日間経過してしまうと生存率は0%と言われており、早期発見が極めて重要であることが示唆されている。それだけに認知症による行方不明者をどう接するかは大切な役割といえよう。【地域福祉部会】

秋の訪れを感じさせる＜彼岸花満開

令和3年3月、利根川河川敷の“くるみ公園”に地域の皆様と協力して植えた彼岸花の球根が大きくなって今年も花を咲かせました。

【利根川河川敷PT】



令和3年3月彼岸花の球根を植える



利根川河川敷 くるみ公園＜9月22日撮影＞

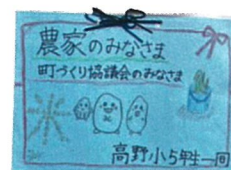


利根川河川敷 桜並木通り

高野小5年生が 稲刈り体験を行いました



5月に植えた稲が実り、収穫の時期となりました。9月29日地元の方のご協力のもと、5年生50名が稲刈り体験をしました。子どもたちは、農家の方に教わりながら、鎌で稲を刈ったり、稲を束ねて干したりする作業を行いました。【絆づくり部会】



ミ・ナーデ 運動会



はじめてのうんどうかい。泣かずにゴールできました！

11月15日、ミ・ナーデ体育館で未就園児を対象に運動会を開催しました。今年もコロナの為2部制で実施。短い時間でしたが、親子での楽しいひと時を過ごすことができ、子どもたちも大好きなお母さんと一緒に過ごせて、ニコニコ笑顔の子どもたちでした。



令和5年1月15日利根川河川敷 「あわんとり(どんど焼き)」



新年1月15日に浅間神社下の土手で無病息災を願って行われます。正月のしめ飾りや藁や竹を集め、高く積み上げて燃やします。本来の意味は歳神様をお迎えするために飾った松飾を、正月の終わる小正月に焼いて、歳神様を空にお送りするための神事です。

皆さん！ぜひお誘い合わせの上お集りください！

